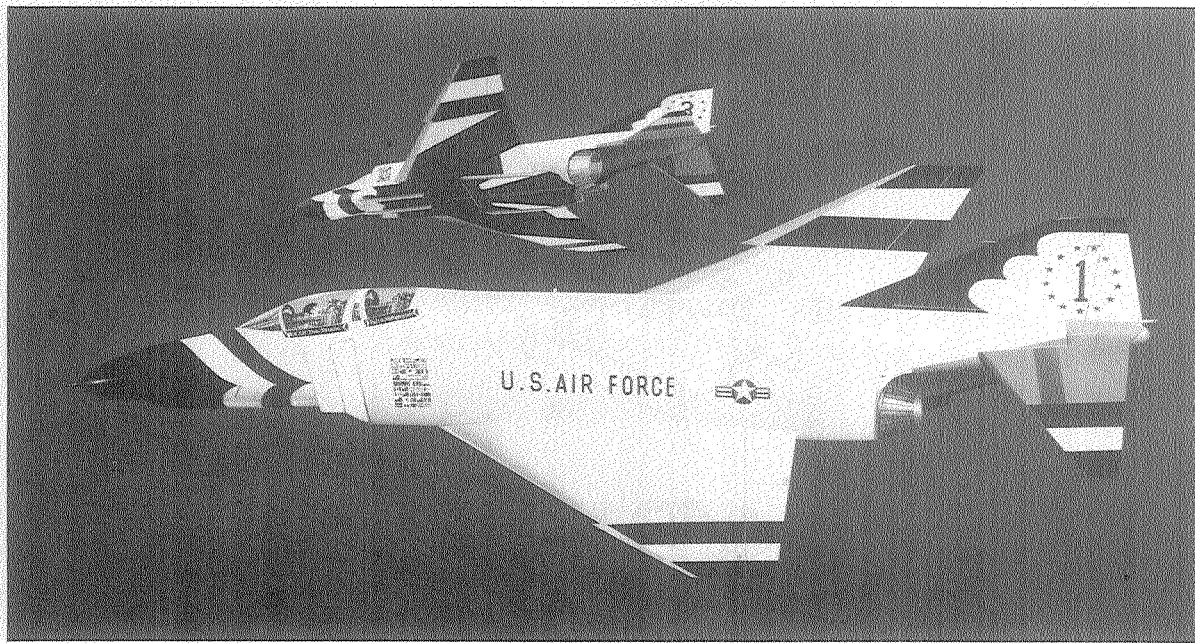


# 1/48 F-4E PHANTOM II THUNDERBIRDS 『サンダーバード』



アメリカ空軍の曲技飛行チーム『サンダーバード』は、約12年間使用したF-100C/Dからマグダネル・ダグラスF-4EファントムIIに1968年のシーズンが終ってから機種転換した。

1968年～69年のトレーニングシーズンにはアクロバット仕様の機体が出来上がっていなかったため、通常の迷彩塗装をした機体を使用していた。この機体は、ガンも積んだままで、専用機が出来るまでのつなぎとして使用した。

また、このトレーニングシーズン中にソロパイロットが墜落事故を起こしパイロットを失ったため、2機で行っていたソロ飛行を1機で行なうことになった。このため、アクロ演技の一部を変更された。

アクロ専用機のファントムは、機体全面を白色に塗装された。また垂直尾翼には、13個の星を円形に並べ、その中に各機の機番を書いている。機首、各翼端上下面は赤・白・青の3色で塗装され、機体下面から主翼下面にサンダーバードを意味する鳥のモチーフが描かれている。この鳥のモチーフも当初は一色であったが、後に赤の縁どりが入った。これら外観上の変更の他に専用機は、ガンや爆撃コンピューター、火器管制装置の一部などの武装を外され、その分バラストを積んだりした。計器パネルも後席の航法パネルが前席に移動した。また機体下面のミサイル架には、スモークオイルの入ったダミースパローがつけられた。

4号機は1号機の排気をかぶるため垂直尾翼を黒く塗装している。

## ★くみだてる前にお読みください。

- くみだてる前に一度説明書をよくよんで下さい。
- せったくをするまえに部品のかりくみをして下さい。
- とそうをする場合は安全な フセ電線 水性ホビーカーを使いましょう。

## ★PAINTING & DECALS

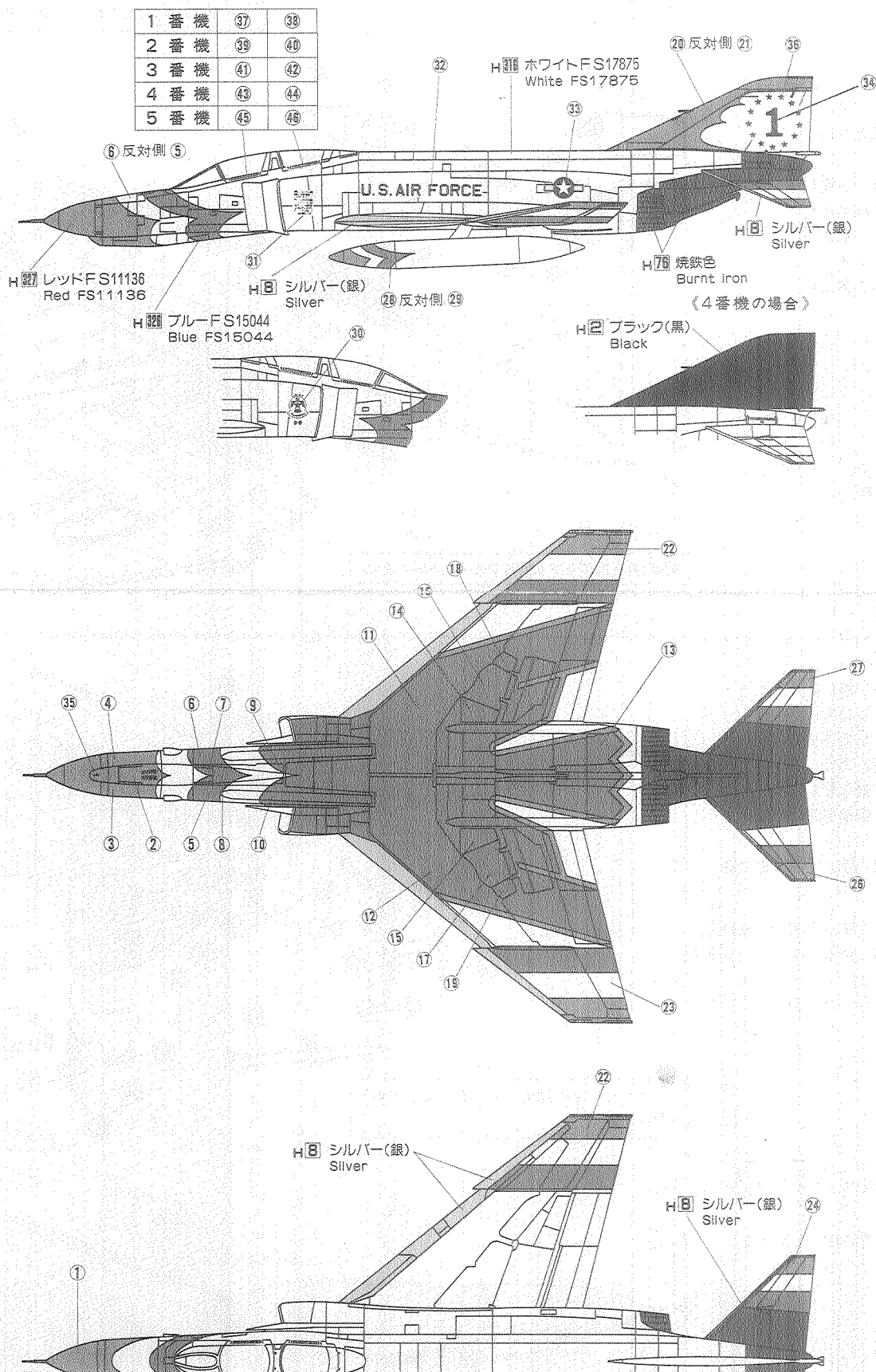
- 製作前に部品をよく調べて下さい。
- 万一不良品がありましたら当社迄御連絡下さい。
- H□番号は ゲンゼ産業 水性ホビーカーの色番号です。

## スライドマークのはり方

1. マークを台紙からいねいに切り抜いて下さい。
2. コップの中の中に30秒くらいつけてからタオルの上にとりだします。
3. マークを台紙からはずしてはる位置にうつします。
4. マークを布でおさえ余分な水分をとりさって下さい。

## Painting & Decals

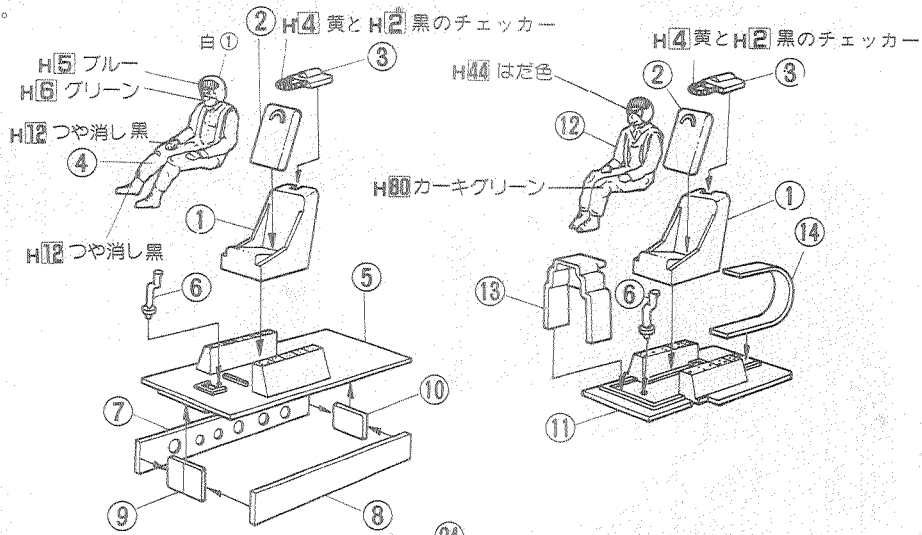
### ●アメリカ空軍アクロバットチーム サンダーバード U.S. AIR FORCE THUNDERBIRDS



- ⑤の突起が座席下部の中へくように取付けます。
- ⑦、⑧は巾の広い方が前です。
- ※ ⑪のミゾへ接着剤が入らぬよう座席を取付けて下さい。この板は風防取付けのパネになります。

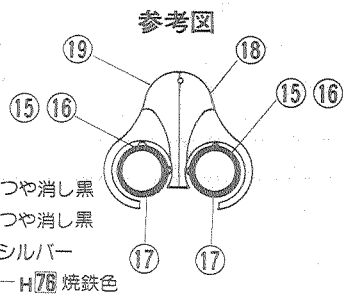


- 部品①、②、⑤、⑪ — H75 ダークシーグレー (つや消し)
- ③ — H75 ダークシーグレー
- ⑥ — H8 シルバー (先端はH12 つや消し黒)
- ⑬ — H12 つや消し黒
- コクピット内部 — H61 明灰白色(1)

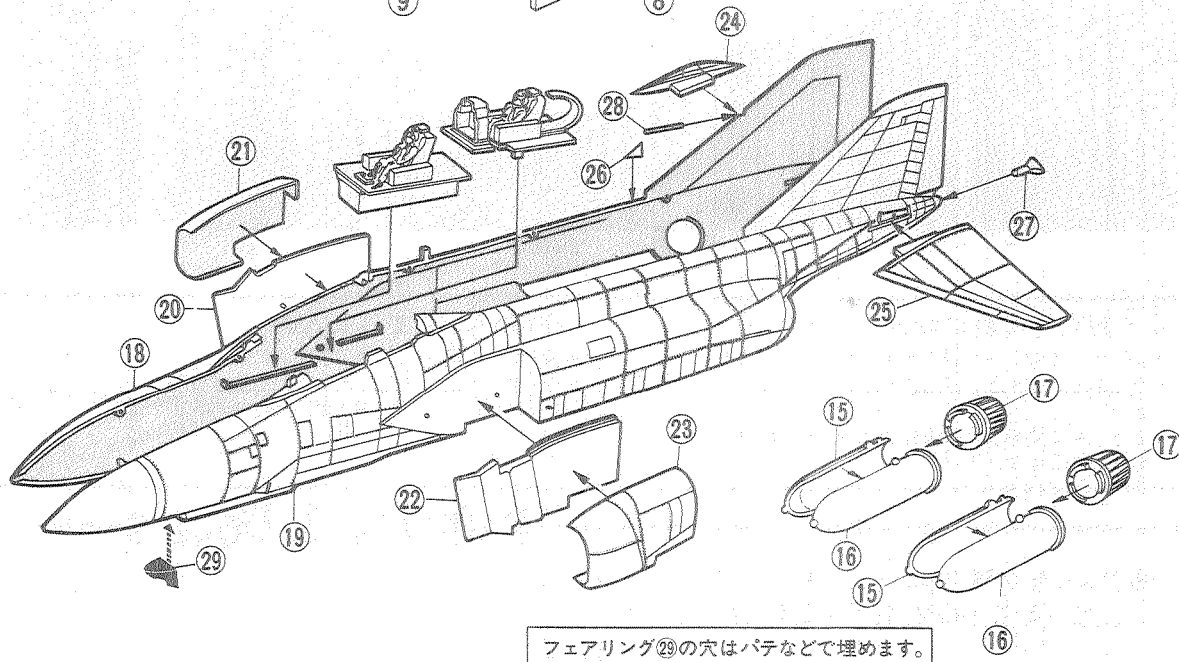


## 2

- ⑮、⑯の突起と⑰の突起が90°になるように取付けて下さい。
- ⑮、⑯、⑰を組んで胴体に接着する時、⑰の突起が胴体内側の壁に当たるよう取付けます。(参考図を参照して下さい。)
- ※ ⑲の形に注意して下さい。

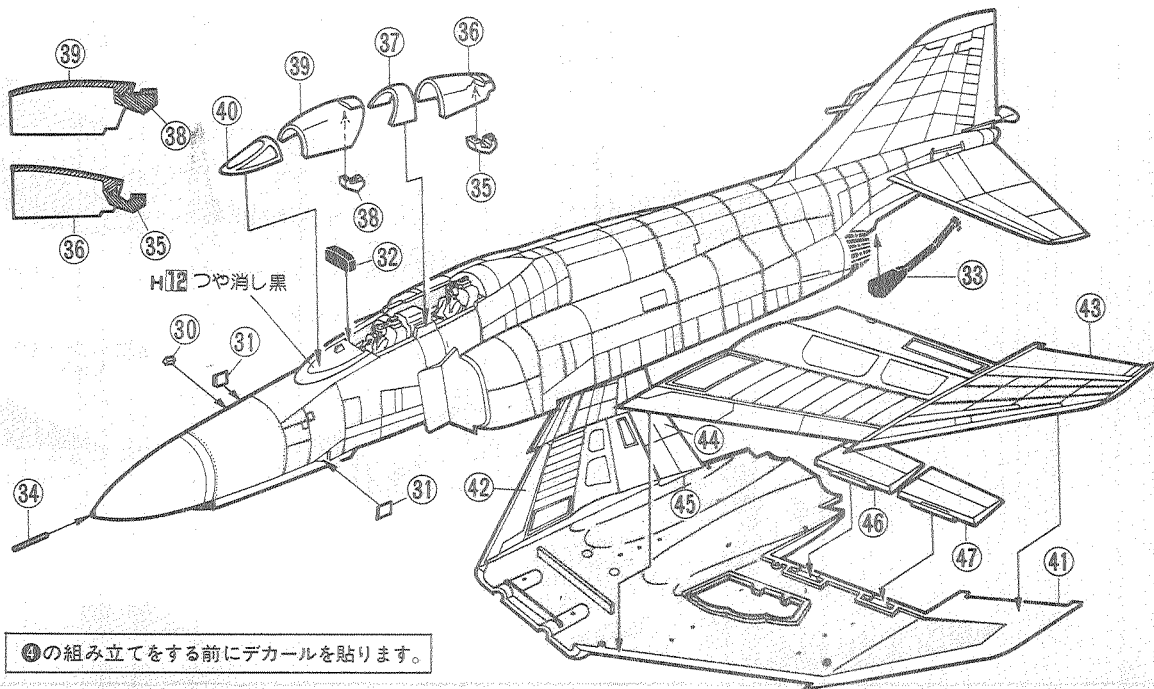


- 部品⑲ — H12 つや消し黒
- ⑳ — H12 つや消し黒
- 部品㉑ — H8 シルバー
- ⑰の内側 — H76 焼鉄色



## 3

- 主翼の組立ては、④④、④⑤、④⑥、④⑦をそれぞれ可動させるように上翼と下翼とはさんで組立てます。
- ※ 風防ヒンジを接着した風防は、一晩放置し完全に乾いた後、③⑥を胴体とパネの間へ差しこみ、③⑦を接着し、次に③⑧を取付け、最後に④⑩を接着します。(③⑦と④⑩は胴体へ接着し、③⑥と③⑧は動くようにします。)

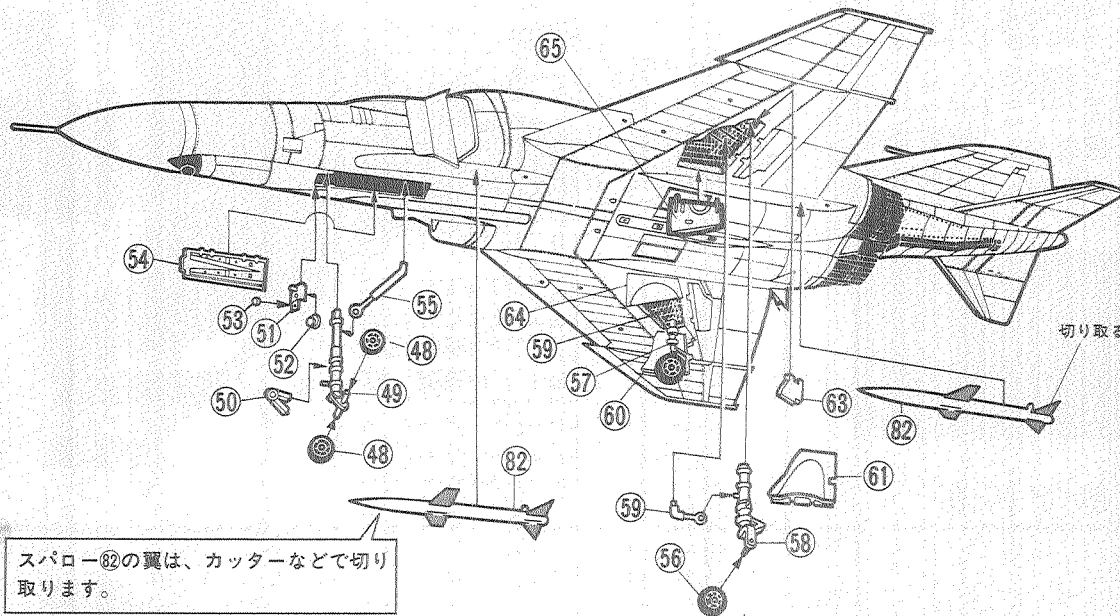


- 部品③⑥、③⑧ — H75 ダークシーグレー (つや消し)
- ③②、③④ — H12 つや消し黒

## 4

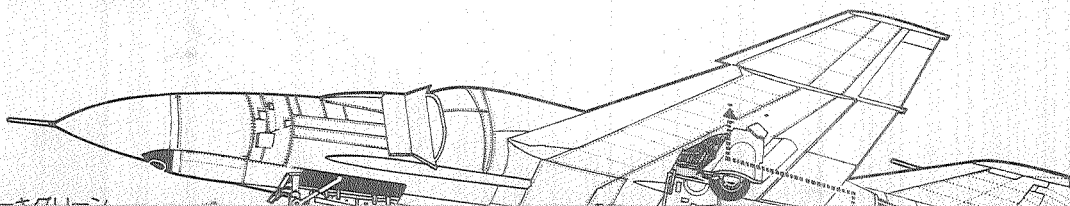
- ④⑧を④⑨のシャフトへはめこみ、熱したドライバー等でシャフトの頭を軽くつぶします。
- ④⑩と④⑪も同じように軽くつぶして下さい。
- ④⑫は④⑨の左側前へ斜めに接着します。
- ④⑬は④⑨下面の穴へ差しこみ接着します。
- ④⑭へ④⑮、④⑯を接着し脚柱前の胴体下面に取付けます。
- ④⑰、④⑱、④⑲を左翼下面へ、④⑲、④⑲、④⑲を右翼下面へそれぞれ接着します。

- 部品 ④⑨、④⑩、④⑪、④⑫、④⑬ — H11 白(半つや消し)
- ④⑭、④⑮、H12 つや消し黒 ホイール — H11 白
- ④⑰、④⑱ H11 白 オレオ部 — H8 シルバー

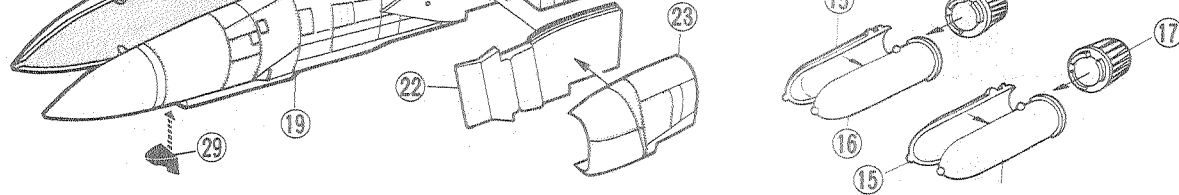


## 5 装備部品

- 翼下タンク⑦⑦⑦はフェリー用です。アクロバット時は使用しません。
- アクロバット時は、パイロン⑦②も使用しません。



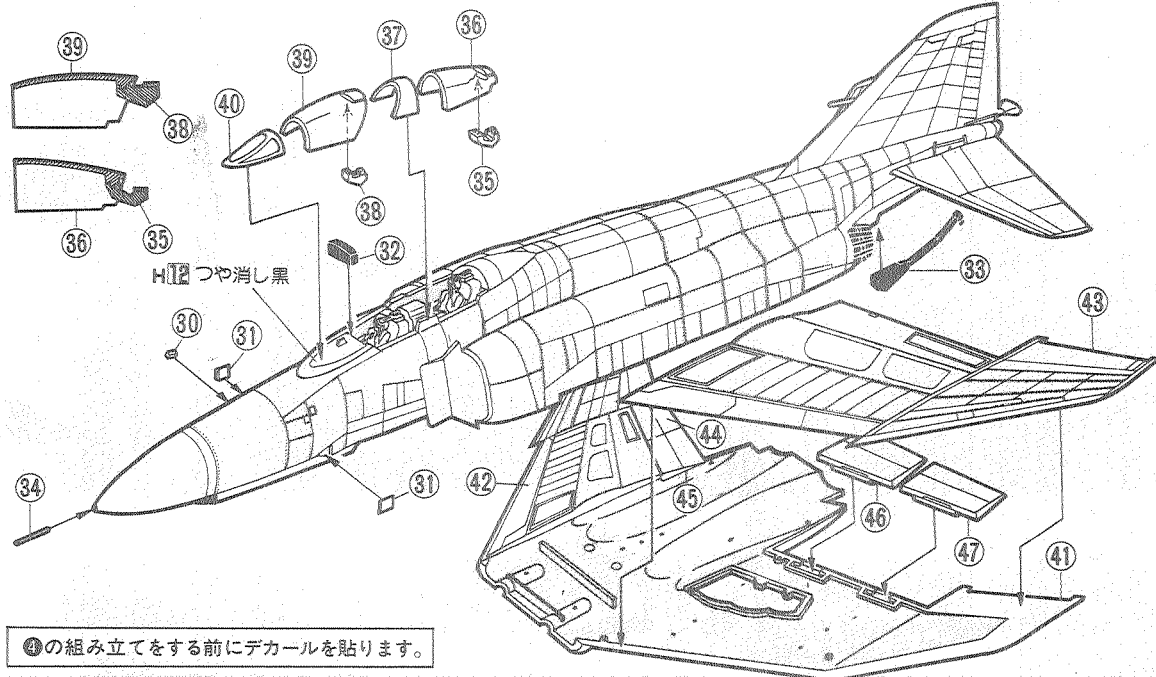
- 部品 23 — H12 つや消し黒
- 26 — H12 つや消し黒
- 部品 29 — H8 シルバー
- 17の内側 — H76 焼鉄色



フェアリング29の穴はパテなどで埋めます。

### 3

- 主翼の組立ては、44、45、46、47をそれぞれ可動させるように上翼と下翼とはさんで組立てます。
- ※風防ヒンジを接着した風防は、一晚放置し完全に乾いた後、36を胴体とパネの間へ差しこみ、37を接着し、次に39を取付け、最後に40を接着します。  
(37と40は胴体へ接着し、36と39は動くようにします。)

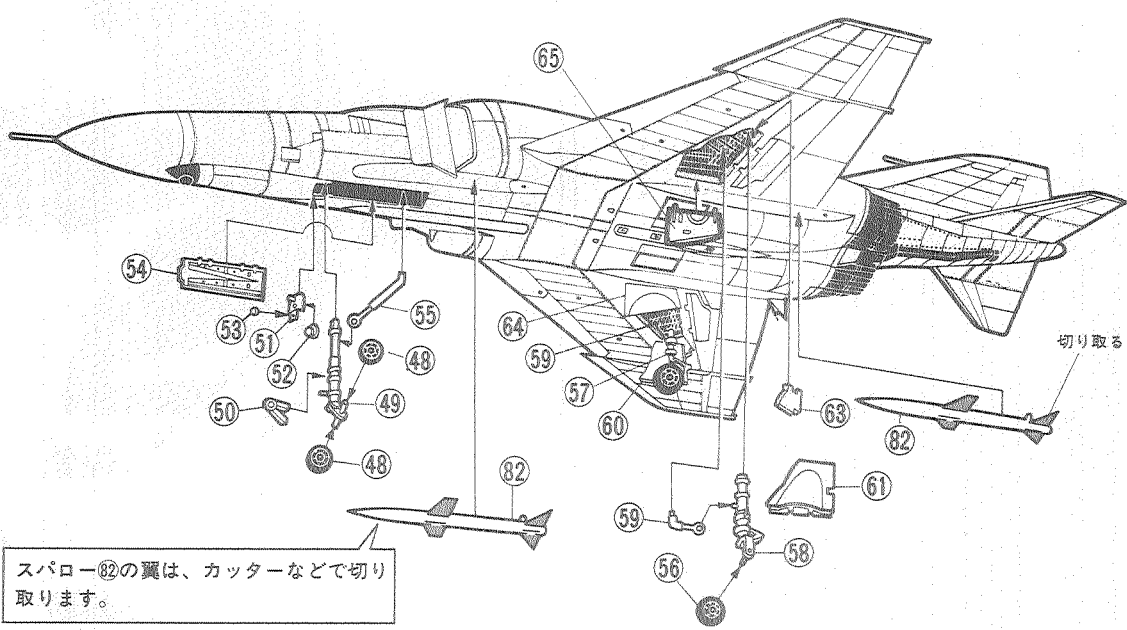


4の組み立てをする前にデカールを貼ります。

- 部品 39、38 — H75 ダークシーグレー (つや消し)
- 32、34 — H12 つや消し黒

### 4

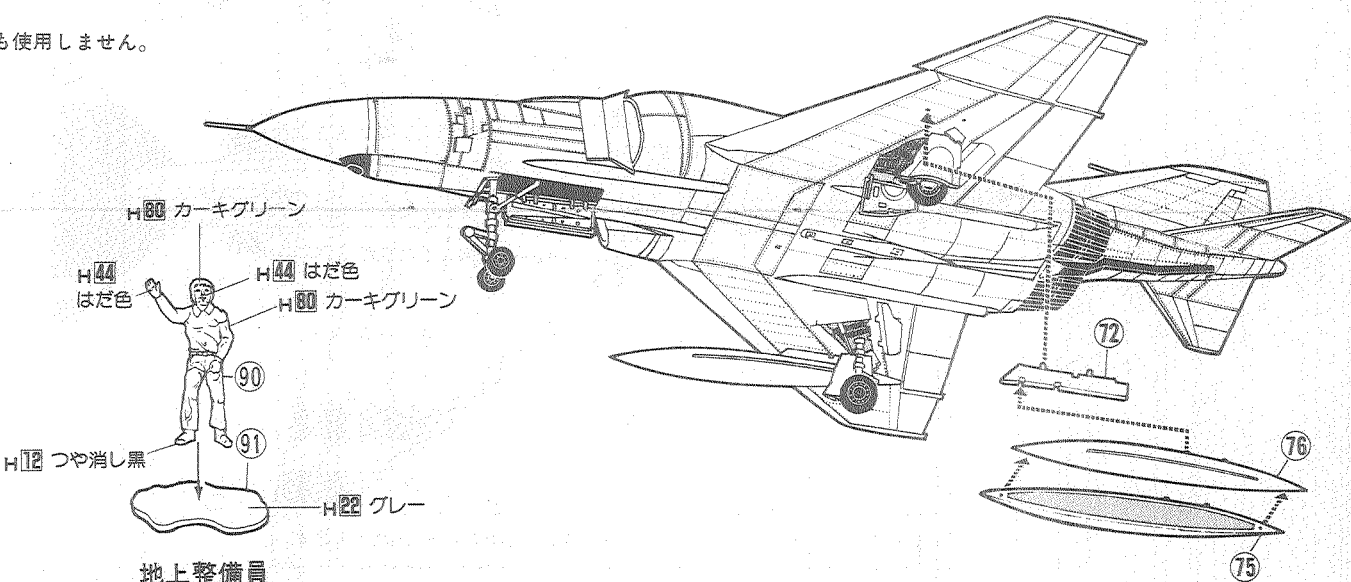
- 48を49のシャフトへはめこみ、熱したドライバー等でシャフトの頭を軽くつぶします。
- 56と59も同じように軽くつぶして下さい。
- 50は49の左側前へ斜めに接着します。
- 49は5下面の穴へ差しこみ接着します。
- 51へ52、53を接着し脚柱前の胴体下面に取付けます。
- 61、63、65を左翼下面へ、60、62、64を右翼下面へそれぞれ接着します。



スパロー82の翼は、カッターなどで切り取ります。

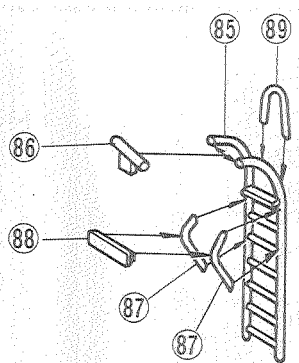
### 5 装備部品

- 翼下タンク7576はフェリー用です。アクロバット時は使用しません。
- アクロバット時は、パイロン72も使用しません。



### 6 ラダー

- ラダーの塗装は下から3段目までがH54 それより上はH4に塗装して下さい。ラダーは機体左側にかけて下さい。



#### ●F-4Eサンダーバース

機体番号 Number	機体名 Aircraft	シリアルナンバー Serial No.	パイロット名 Pilot Name
1 番機	F-4E	66-0289	Lt. Col. Tom Swalm
2 番機		66-0290	Maj. Gels Running
3 番機		66-0291	Maj. Joe Howard
4 番機		66-0296	Maj. Jerry Bolt
5 番機		66-0315	Capt. Steve Dwelle



●とそうをする場合は安全な水性ホビーカー  
を使いましょう。

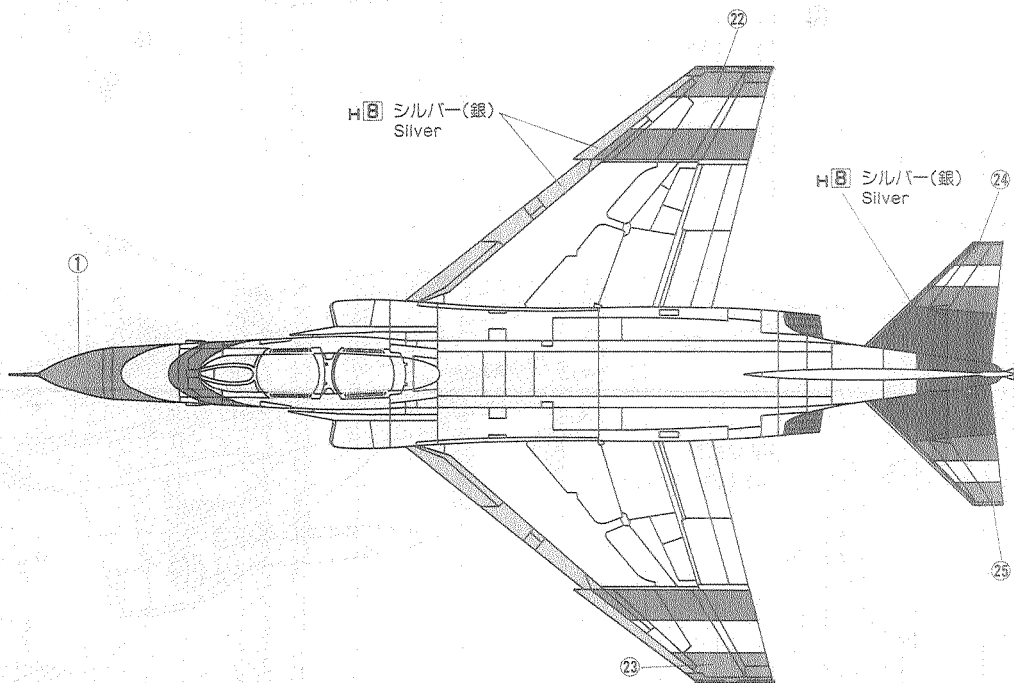
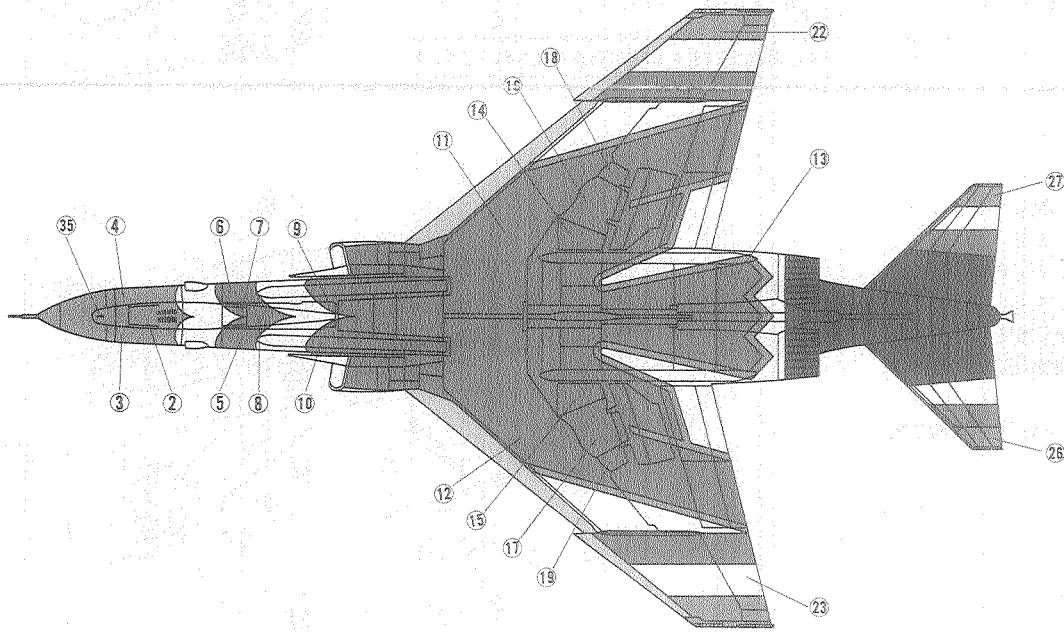
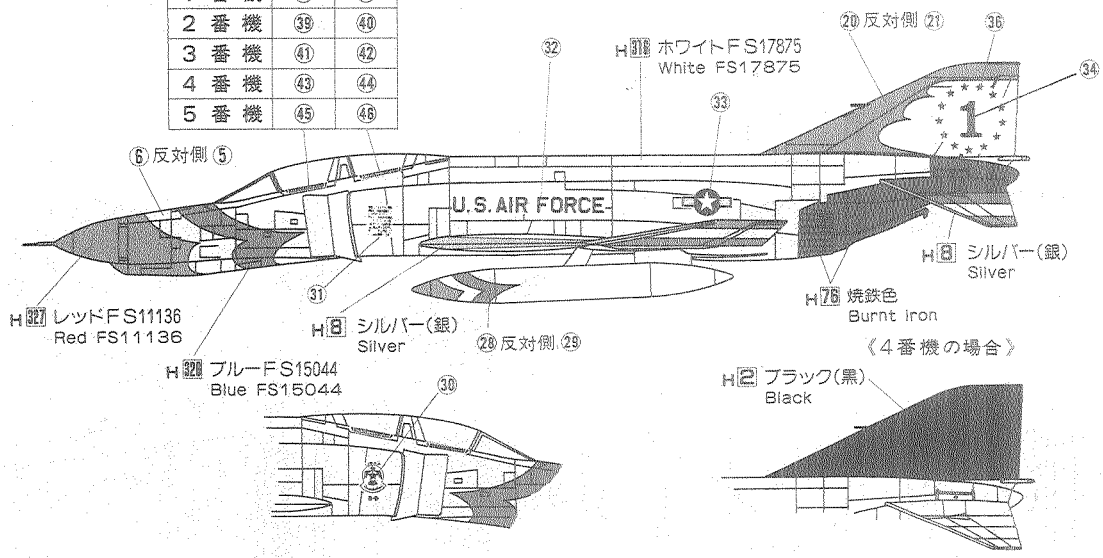
●この色番は「水性ホビーカー」の色番  
号です。

3. マークを台紙からはずしてはる位置にうつします。  
4. マークを布でおさえ余分な水分をとりさって下さい。

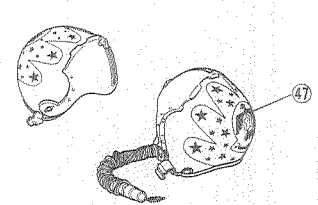
# Painting & Decals

## ●アメリカ空軍アクロバットチーム サンダーバード U.S. AIR FORCE THUNDERBIRDS

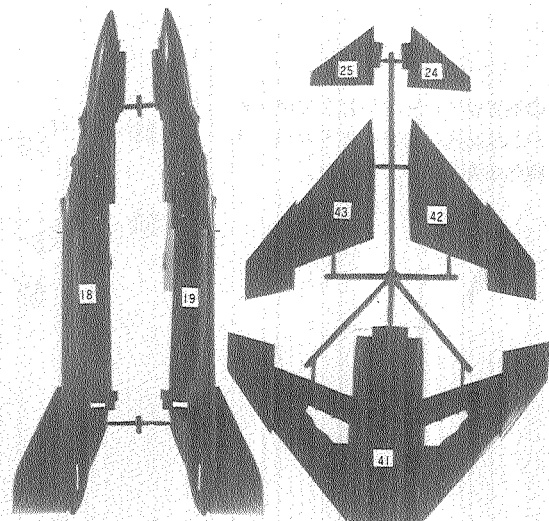
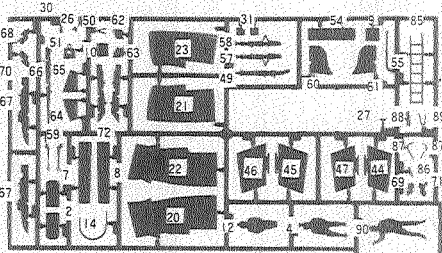
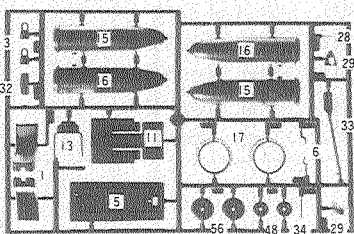
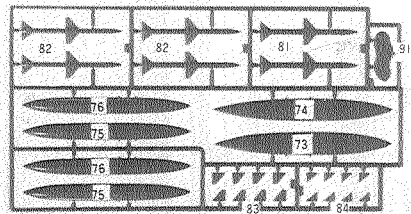
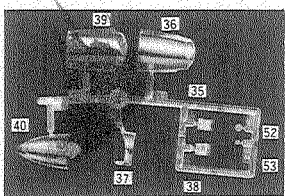
1 番機	37	38
2 番機	39	40
3 番機	41	42
4 番機	43	44
5 番機	45	46



デカールにしわが出たところは、カッターなどで切りこみを入れてはります。



### 部品配置



★たのしくプラモデルをつくるために  
●安全なグンゼ産業水性ホビーカーをつかいましょう。  
●色をぬるときは、必ず窓をあけるようにしましょう。  
●塗料のそばで火をつかないことを守りましょう。  
●国産登録の「H」は、「水性ホビーカー」の色番です。

●家庭用品品質表示法による模写商品表示  
取扱い上の注意  
1. 幼児の手の届かないところに保存し、  
いたづらをしない様注意して下さい。  
2. 火気に注意し換気をよくして下さい。  
3. 故意に吸わない様注意して下さい。  
表示者 S Z 3000 S Z 3006 S Z 5013  
●部品を取出した空袋は、幼児が遊んだりしない  
様に破りすて下さい。